

第35回 甲南英文学会定期総会・研究発表会のご案内

2019年6月11日

甲南英文学会会長 中井 誠一

事務局メール：akimoto@konan-u.ac.jp

ウェブ：<http://www.konan-u.ac.jp/hp/els>

本年度の総会、および研究発表会・講演会を以下の要領で開催いたします。ぜひともご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日時：2019年7月6日（土）13時00分より

場所：甲南大学2号館2階、223号教室、224号教室

プログラム

13:00 -13:50 **総会**（2号館2階223教室）

議題

- 1 2018年度決算報告
- 2 2019年度予算案
- 3 その他

報告

- 1 名誉会員の推薦
- 2 編集委員会より
- 3 その他

14:00-16:00

研究発表

[英語学] 2号館2階224教室

司会：福田稔（宮崎公立大学）

1 チュートリアル「形式意味論の基本的な考え方について —外延，内包，集合，可能世界に焦点を当てて—」

中谷健太郎（甲南大学）

2 「1回/1回だけ」が導く *semelfactive* と *activity* のアスペクト解釈の違い

志田祥子（甲南大学大学院博士後期課程）・中谷健太郎（甲南大学）

[英米文学・文化] 2号館2階223教室

司会：岩井学（甲南大学）

1 ヒーロー不在の物語 —「母と娘」における風刺される女たちの行末—

横山三鶴（甲南大学非常勤講師）

司会：浜本隆三（甲南大学）

2 ジェイムズの『死者たちの祭壇』とトリュフォーの『緑色の部屋』における生と死——アダプテーション理論を援用して

中井誠一（島根大学）

16:20-17:30

講演会（2号館2階223教室）

司会：Nigel Duffield（甲南大学）

日本語と英語の「指定文」について(The specificational sentence in Japanese and English)

西垣内 泰介（神戸松蔭女子学院大学教授）

【講演者略歴】

神戸松蔭女子学院大学 文学部英語学科・大学院 英語学専攻・言語科学専攻教授・言語科学研究所所長。

マサチューセッツ大学 Ph.D. (1986), 大阪大学大学院言語文化研究科助教

授 (1989-) などを経て現職 (1996-)。この間カリフォルニア大学アーヴァイン校客員准教授 (1990-91), メリーランド大学 客員教授(フルブライト研究員プログラム、2005-6)。

Quantification in the Theory of Grammar (Springer)、『論理構造と文法理論』(くろしお)、『英語から日本語を見る』(研究社)、『ことばの科学ハンドブック』(郡司 隆男と共編著、研究社)ほか、国内外の専門誌に発表論文多数。

17:45-19:30 懇親会 (Hirao Dining Hall North)

参加費： 3000 円

【出欠について】

昨年度から、出欠の連絡はオンラインで行うことになっております。下記の URL をご利用くださいますようお願いいたします。

いたします。

なお、郵送でニューズレターを受け取られている場合は同封のハガキ (または下記のフォーム) よりご連絡ください。

第 35 回 甲南英文学会 出欠連絡フォーム

<https://forms.gle/pQNVVpww5WGsvxXX9>

回答期限:6/27(木)13:00 まで

※期間中は何度でも送信が可能ですので、内容を修正したい場合は再度送信ください。

※スマートフォンからも回答可能です。

〈入力の流れ〉

1. 最初に氏名の記入をお願いいたします。
2. ・「総会」欄で「参加」を選択した場合、「次へ」を押すと研究発表・懇親会への出欠欄に移ります。

・「総会」欄で「欠席」を選択した場合、委任状フォームへ進みます。内容を確認後、チェックボックスにチェックを入れ署名をお願いいたします。「次へ」を押すと研究発表・懇親会への出欠欄に移ります。

3. 「送信」を押すと回答完了です。

【役員会について】

本年度の役員会は、10号館8階準備室(L-810)にて12:00より開催予定です。役員の方は万障お繰り合わせのうえ、ご出席をよろしくお願いいたします。